choseikai
Since1945. Saga
きりん新聞
KIRIN NEWSPAPER
令和４年 5 月号
発行 医療法人 長晴会
佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120
きりん新聞編集局

風薫る5月

南風が麦畑に道を作りながら施設に流れ、こいのぼりを優雅に泳がせています。

青空を背に、時折音を立て泳ぐこいのぼりの姿は逞しさを感じますね。

風は施設内のツツジや百日草、八重桜など様々な花を咲かせてくれました。

私たちは春が来るとつい、早足になりがちですが、利用者様は皆様ゆっくりとした足取りで、訪れた春をかみしめるように歩かれます。

そして「春の日差しは気持ちのよかねぇ」「もうツツジの季節になったねぇ」と優しく微笑まれ、春の心地よい風の中、散歩をされています。





童心に返って

5月5日、子供の日のお昼のメニューはオムライス、メンチカツ、マカロニサラダ、コーンポタージュ、たい焼きでした。

子供たちが喜びそうな、目で見てもかわいらしいお昼ご飯に利用者様も大変喜んでくださいました。

皆様に少しでも笑顔になっていただこうと、オムライスは厨房のスタッフがおひとり分ずつ丁寧に卵で包み、ケチャップで可愛くハートを書きました。

利用者様の笑顔のために毎日、厨房スタッフも頑張っています。






麦秋

畑一面を黄色に染めていた菜の花の時期が過ぎ、青々としていた麦も少しずつ色づきはじめ、季節の移り変わりを感じる幸せを日々感じながら、利用者様と一緒に施設外へのお散歩へも出かけます。農業に従事されていた利用者様は「もうすぐ薬を掛けないかんやろ～」「今年もよう育っとーねぇ」と施設の近所の麦畑を見てとても楽しそうに話をしてくださいます。

貴重な体験や知識、苦労されたことなど懐かしそうに、聞かせて頂くことで、お一人お一人の人生に少しだけですが、触れたような気がして敬服します。



すっぽん キッシー現る?

老健きりんの入口にある川の主「すっぽん」。

暖かくなり、天気のいい日は水の中から首を長く延ばして、こちらの様子をうかがっているようなしぐさを見せてくれるようになりました。

すっぽんといえば、雷が鳴っても離さないといわれるほど噛みつく力が強いことで知られていますが、実はとても臆病な性格で、自分を守るための習性なのだそうです。



小集団活動紹介

書道教室




お一人お一人に応じ、季節に合った題材を書くことで、見当識や集中力の向上を目的に取り組んでいます。

ご自分の作品だけでなく、他の利用者様の作品を見て頂くことで、書き方を学ぶ機会にもなっています。

書き上げた作品は、掲示後ご本人へお渡しし、保管していただいています。